



# 埋蔵文化財愛知

no.53



## やば 矢迫遺跡のおおかべ の大壁住居

豊田市鴛鴦町の碧海台地上に所在する矢迫遺跡から、古墳時代後期から奈良時代にかけての竪穴住居17棟と大壁住居3棟などが確認された。特に、7世紀前半に属すると思われる大壁住居は、滋賀県湖西地方の他、大阪府泉南地域、奈良県葛城地域、神戸市などで発見されているが、東日本では初めての類例である。



## 平成10年度の事業

平成10年度 事業計画  
(財)愛知県埋蔵文化財センター

## 埋蔵文化財発掘調査

(総調査面積73,400㎡)

## 東海環状自動車道関連

上品野遺跡 瀬戸市 6,600㎡  
八王子遺跡 瀬戸市 2,400㎡

## 第2東海自動車道関連

本川遺跡 豊田市 15,500㎡  
川原遺跡 豊田市 1,200㎡  
郷上遺跡 豊田市 6,650㎡  
今町遺跡 豊田市 6,000㎡  
水入遺跡 豊田市 9,500㎡  
西山古窯 豊田市 250㎡  
天神前遺跡 豊田市 100㎡  
渡合遺跡 豊田市 150㎡

## 中丸町三丁目住宅建設関連

志賀公園遺跡名古屋5,200㎡

## 国道248号線関連

天神前遺跡 豊田市 8,000㎡

## 土岐足助線関連

能見城跡 旭町 2,400㎡

## 蒲郡碧南線関連

岡島遺跡 西尾市 1,000㎡

## 大塚国府線関連

高坂遺跡 御津町 150㎡

## 田柮名古屋線関連

岩作城跡 長久手町 1,800㎡

## 五条川右岸流域下水道関連

伝法寺野田遺跡  
一宮市 2,400㎡

## 五条川改修関連

清洲城下町遺跡  
清洲町 1,500㎡

## 鹿乗川改修関連

鹿乗川流域遺跡群  
安城市 800㎡

## 名岐道路関連

朝日遺跡 清洲町 1,800㎡

## 報告書の作成

第80集 門間沼遺跡  
第81集 細口下1号窯・鴻ノ巣  
古窯・高針原1号窯  
第82集 毛受遺跡  
第84集 馬引横手遺跡  
第85集 森岡古窯  
第86集 大脇城跡  
第87集 三ツ井遺跡

## 報告書の印刷製本

第75集 NA335号古窯跡群  
第76集 東新規道遺跡  
第77集 東苅安賀道遺跡  
第78集 吉田城遺跡  
第79集 一色青海遺跡

## 出土遺物の分析・整理

朝日遺跡

## 広報紙・誌の発行

愛知県埋蔵文化財情報14  
埋蔵文化財愛知 年4回  
愛知県埋蔵文化財センター年報

## 愛知県教育委員会実施の事業

愛知県教育委員会生涯学習部  
文化財課文化財保護第二担当

県教育委員会は、遺跡の周知徹底を図り、開発事業との調整・協議のために基礎的資料の作成などをすすめているが、本年度は次に掲げる事業を実施していく。

## 知多半島遺跡詳細分布調査

中部新国際空港(2005年開港予定)の建設等により開発事業の増加が予測される知多半島の遺跡の現状を正確に把握し、埋蔵文化財の保護と開発事業との

調整に備える。本事業の最終年度である本年度は、補足調査と分布調査の報告書刊行を行う。

## 清洲貝殻山貝塚資料館整備拡充事業

朝日遺跡から出土した膨大な遺物を適切に保管し、展示公開などによる積極的活用を図るために、貝殻山貝塚の隣接地に新施設を建設し、また史跡の再整備を行う。本年度は建設予定地の整地工事及び9年度末で閉館

した資料館の管理を行う(平成13年開館予定)。

## 第11回埋蔵文化財調査研究会

県内の埋蔵文化財担当専門職員が平成9年度に実施した発掘調査成果の発表をとおして、情報交換と研鑽に努めることを目的に開催した。

開催日 平成10年7月3日(金)  
会場 愛知県埋蔵文化財調査センター



愛知県埋蔵文化財担当専門職員名簿

(平成10年6月1日現在)

愛知県教育委員会生涯学習部文化財課  
文化財保護第二担当 052-961-2111  
主任専門員 赤羽一郎  
教育主事 高橋信明 長島 広  
安藤義弘 柴田直光  
主事 野口哲也 原田 幹  
愛知県埋蔵文化財調査センター 0567-67-4164  
所長 加藤安信  
主査 梅本博志  
愛知県陶磁資料館 0561-84-7474  
学芸課長 浅田員由  
主任学芸員 仲野泰裕 井上喜久男  
学芸員 森 達也 小川祐紀

名古屋市教育委員会文化財保護室 052-972-3268  
学芸員 小島一夫 竹内宇哲  
一宮市教育委員会社会教育課  
学芸員 土本典生  
瀬戸市教育委員会文化財課 0561-82-0687  
係長 服部 郁  
春日井市教育委員会文化財課 0568-33-1113  
主幹 大下 武  
主事 村松一秀 浅田博造  
犬山市教育委員会生涯学習課 0568-61-1800  
事務吏員 平松久和  
小牧市教育委員会文化振興課 0568-76-1188  
係長 中嶋 隆  
主事 坪井裕司 浅野友昭  
稲沢市教育委員会社会教育課 0587-32-1111  
主査 北條献示  
江南市教育委員会生涯学習課 0587-54-1111  
書記 駒田直人  
師勝町教育委員会社会教育課 0568-25-3600  
主査 市橋芳則  
大口町教育委員会生涯学習課 0587-95-3999  
主事 木浪浩行  
嘱託 宮川芳照  
津島市教育委員会生涯学習課 0567-24-1111  
主事 横井さつき

東海市教育委員会社会教育課 052-603-2211  
課長補佐 立松 彰  
主事 永井伸明  
大府市歴史民俗資料館 0562-47-2111  
主任 古田功治  
知多市教育委員会生涯学習課 0562-33-3151  
主事 伊藤久仁洋  
南知多町教育委員会社会教育課 0569-65-2880  
事務吏員 森 崇史  
協力員 磯部幸男  
岡崎市教育委員会社会教育課 0564-23-6177  
主事 内藤高玲  
事務員 小幡早苗  
刈谷市教育委員会文化振興課 0566-23-1111  
学芸員 鶴飼堅証  
西尾市教育委員会文化振興課 0563-56-2459  
係長 松井直樹  
学芸員 鈴木とよ江  
知立市教育委員会文化課 0566-83-1133  
主事 大野真規  
嘱託 玉川裕香  
高浜市教育委員会文化振興課 0566-52-3366  
学芸員 天野卓哉  
吉良町教育委員会生涯学習課 052-444-2511  
課長補佐 荻野 栄  
豊田市教育委員会文化財保護課 0565-32-6561  
主査 松井孝宗 杉浦裕之  
森 泰通 児玉文彦  
天野博之  
主事 成瀬憲作  
新城市教育委員会生涯学習課 05362-3-4741  
主事 黒田健二  
主任 渡辺敬一  
豊橋市教育委員会文化振興課 0532-47-2017  
事務吏員 費 元洋 小林久彦  
岩瀬彰利 岩原 剛  
豊川市教育委員会生涯学習課 05338-9-2158  
主事 前田清彦 林 弘之  
一宮町教育委員会 05339-3-6030  
主査 須川勝以  
主事 桑原将人

名古屋市見晴考古資料館 052-823-3200  
学芸員 木村有作 村木 誠  
山田弘一 野口泰子  
平出紀男 水野裕之  
野澤剛幸 伊藤正人  
伊藤厚史 服部哲也  
木村光一 田原和美  
(財)瀬戸市埋蔵文化財センター 0561-21-1951  
専門員 藤澤良祐  
主任 岡本直久  
調査員 佐野 元 松澤和人  
金子健一 青木 修  
河合君近  
稲沢市教育委員会美術館 0587-23-3300  
主事 日野幸治  
清洲町教育委員会社会教育課 052-400-2721  
主事 柴垣哲彦  
美和町歴史民俗資料館 052-442-8522  
学芸員 鎌倉崇志  
弥富町歴史民俗資料館 0567-65-4355  
主事 伊藤隆彦  
半田市教育委員会博物館 0569-23-7173  
主任 近藤英正  
常滑市民俗資料館 0569-34-5290  
学芸員 中野晴久  
武豊町歴史民俗資料館 0569-73-4100  
学芸員補 奥川弘成  
安城市歴史博物館 0566-77-6655  
学芸員 岡安雅彦 斎藤弘之  
主事 伊藤基之  
嘱託 寺嶋昭洋  
三好町歴史民俗資料館 05613-4-5000  
主事 嘉見俊宏  
足助資料館 0565-62-0387  
主査 鈴木昭彦  
蒲都市博物館 0533-68-1881  
学芸員 小笠原久和  
一宮市博物館 0586-46-3215  
学芸員 久保禎子  
豊川市総務部文化振興課 0533-89-2156  
主事 平松弘孝



財団法人 愛知県埋蔵文化財センター - 職員

(平成10年6月1日現在)

役員

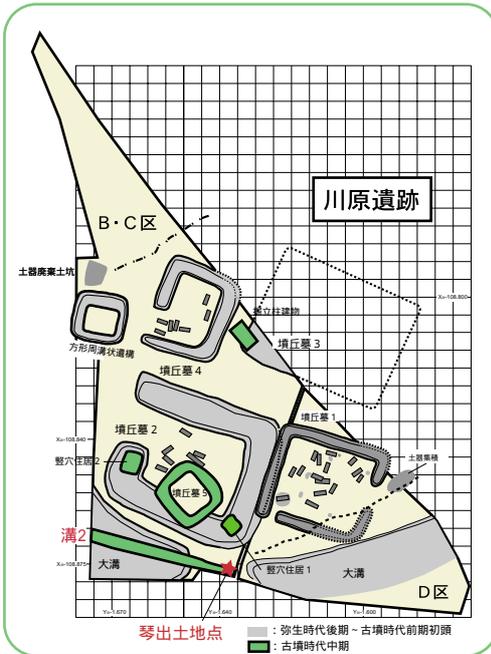
理事長 塩見修哉  
常務理事 堀尾満也  
理事 伊藤 廉  
井関弘太郎  
伊藤秋男  
坪井清足  
橋崎彰一  
渡辺 誠  
名倉庸一  
多田祐一郎  
伊佐治敏  
永谷敏一  
中村 眞  
監事 春日井文人 (非常勤)  
奥山眞弘  
専門委員  
考古学 橋崎彰一  
文献史学 福岡猛志  
地理学 海津正倫  
建築史学 小寺武久  
考古学・動植物学 渡辺 誠  
形質人類学 池田次郎  
保存科学 沢田正昭  
岩石学 諏訪兼位  
木材組織学 木方洋二

愛知県教育委員会教育長  
名古屋大学名誉教授  
南山大学教授  
(財)大阪府文化財調査研究センター理事長  
名古屋大学名誉教授・愛知県陶磁資料館総長  
名古屋大学教授  
都市教育長協議会会長  
町村教育長協議会会長  
愛知県土木部長  
愛知県教育委員会生涯学習部長  
愛知県陶磁資料館館長  
名古屋大学名誉教授・愛知県陶磁資料館総長  
日本福祉大学副学長  
名古屋大学教授  
中部大学教授  
名古屋大学教授  
京都大学名誉教授  
奈良国立文化財研究所  
埋蔵文化財センター研究指導部長  
日本福祉大学教授  
名古屋大学名誉教授

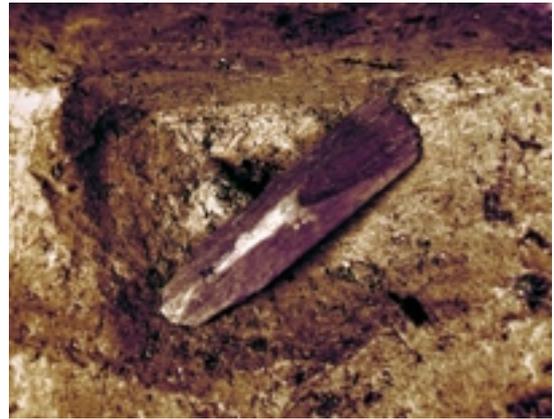
職員

事務局長(兼管理課長) 鈴木順一  
管理課  
課長補佐 伊藤純一  
主査 鹿取健司  
専門員 杉浦俊雄  
主事 渡邊高夫 長瀬尚哉  
坂美貴子 岡田浩志  
調査課  
課長 鷲野 勉  
課長補佐(兼主査) 藤井孝之  
福岡晃彦  
木下 一  
北村和宏  
主査 赤塚次郎  
黒田哲生  
服部信博  
石黒立人  
専門員 小澤一弘 宮腰健司  
主任 松田 訓 伊藤秀紀  
調査研究員 浅井厚視 花井 伸  
佐藤公保 春日井毅  
中野良法 後藤英史  
酒井俊彦 池本正明  
川井啓介 小川芳範  
宇佐見 守 鈴木正貴  
魚住秀史 樋上 昇  
館谷 一 加藤博紀  
伊藤太佳彦 木川正夫  
堀木真美子 永井宏幸  
鈴木達也 鬼頭 剛  
田中伸明 成瀬友弘  
武部真木 蔭山誠一  
川添和暁 永井邦仁  
早野浩二

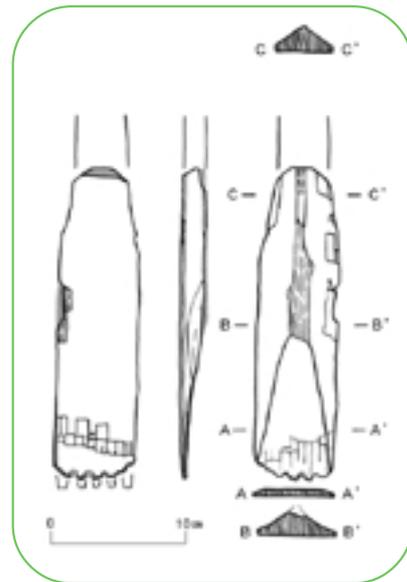
豊田市川原遺跡出土の琴状木製品について



川原遺跡遺構配置図



琴出土状況



琴 実測図



琴

- 1 角江遺跡 (静岡県浜松市) < 弥生時代中期・後期 >
- 2 四分遺跡 (奈良県橿原市) < 弥生時代後期 >
- 3 葭池北遺跡 (兵庫県多紀郡篠山町) < 古墳時代前期 >
- 4 袴狭遺跡 (兵庫県出石郡出石町) < 古墳時代中期 >
- 5 森浜遺跡 (滋賀県高島郡新旭町) < 古墳時代中期 >
- 6 四条大田中遺跡 (奈良県橿原市) < 古墳時代中期 >
- 7 川原遺跡 (愛知県豊田市) < 古墳時代中期 >
- 8 溝昨遺跡 (大阪府茨木市) < 古墳時代後期 >
- 9 菅生遺跡 (千葉県木更津市) < 古墳時代後期 >



川原遺跡と同形態の琴(琴状木製品)の出土遺跡分布図

は祖形と見られる琴状木製品出土地点 (笠原：1994をもとに作成)

豊田市川原遺跡97BC区から古墳時代中期初頭に製作されたと見られる琴状木製品（以下、琴と表記）が出土した。これまでに愛知県下で古墳時代の琴が出土した遺跡としては、葉栗郡木曾川町に所在する門間沼遺跡が知られている。今回はそれに続く2例目となる。

#### 川原遺跡の概要

川原遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期初頭（山中式～廻間式併行期）にかけて、20mを超える規模を持った巨大な墳丘墓のみで構成された、この時期としては全国的にも特異な形態の墓域を形成していた。

古墳時代中期においても、巨大な墳丘墓こそ無いが、依然墓域としての性格を継続していた。墳丘墓5は1辺10数mの規模を持った方墳で、周溝から出土した遺物から中期初頭（松河戸式前期併行期）に造営されたと見られる。墳丘墓5を中心にほぼ東西に対称的な位置にある2棟の竪穴住居1・2からは、祭祀に用いられたと考えられる土器が多く出土した。竪穴住居は、この2棟以外は検出されず特異な存在と見られる。そして墳丘墓5の北側には掘立柱建物が位置し、また墳丘墓5の南側を溝2が、東西に延びている。

これらの遺構は、いずれも軸線を同じくしていることから、墳丘墓5と関わる施設として配置されたと見ることができる。

#### 琴の出土状況

琴を出土した溝2は、古墳時代前期の墓域を区画していた大溝を再掘削した溝である。幅約2m、深さ約1.2mを測る。琴は、この溝のほぼ中央付近の最

下層から、背面を上に向けた形で出土した。製作された時期は、この溝から出土した土器から、墳丘墓5の造営とほぼ同じ頃と思われる。門間沼遺跡出土の琴が、古墳時代後期の製作と考えられることから、川原遺跡の琴が、県内最古の例となる。溝2が、墳丘墓5を中心とする墓域を区画する溝であること、また琴が首長の喪葬儀礼に伴う中心的な楽器であったとされることから、この付近で墓前祭祀が行われた時に用いられ、後に廃棄されたものと考えられる。

#### 琴の形態

出土した琴は、一枚の板材から作られており、現存長は28.7cmである。琴中央部から琴頭部にかけて両側縁が削がれていることから、幅を狭めていく棒（柄）状の琴頭部を有していることが窺われ、元来は羽子板状の形態であったことが推測される。琴中央部は幅5.6cm。琴尾部も幅5.6cm程度である。大きさとしては、他の遺跡から出土した同形態の琴に比べると小型の部類にはいるであろう。尾部の突起は磨損が激しいが、その痕跡から5本の突起を持っていたとみられる。琴頭部が欠損しているため、響孔の有無や集絃機構については不明である。この琴の特徴は、絃の張られる琴面は平らであるが、背面は、琴頭部から琴中央部にかけて、明確な稜をもった断面三角形に整えられていることである。琴中央部のほぼ中央では2cm程度の厚みがありそこから鋭い決りを入れ琴尾へ向かって薄く仕上げられ、尾端（突起）部では厚さ3mm程度と非常に薄く作られている。

遺跡から出土する琴の形態については、これまで「板作り」と「槽作り」の2つの種類が提唱されてきた（水野：1980）。

しかし最近では、川原遺跡の琴のように、「琴体が途中から厚みを増し、細長い三角錘状をなすようになる古墳時代の棒状の琴体を持ち」かつ「5突起を持つ」琴を「第三種の琴」として分類する意見が新たに提唱されている（笠原：1994）。このタイプの琴については、その系譜を弥生時代の中期まで辿ることができるかとされるが、定型化するのには古墳時代中期（5世紀代）からと見られている。しかし古墳時代後期に作られた埴輪弾琴像に表現された琴には、このタイプは見られないので、「板作り」や「槽作り」の琴とは出自・系譜を異にすると考えられている。

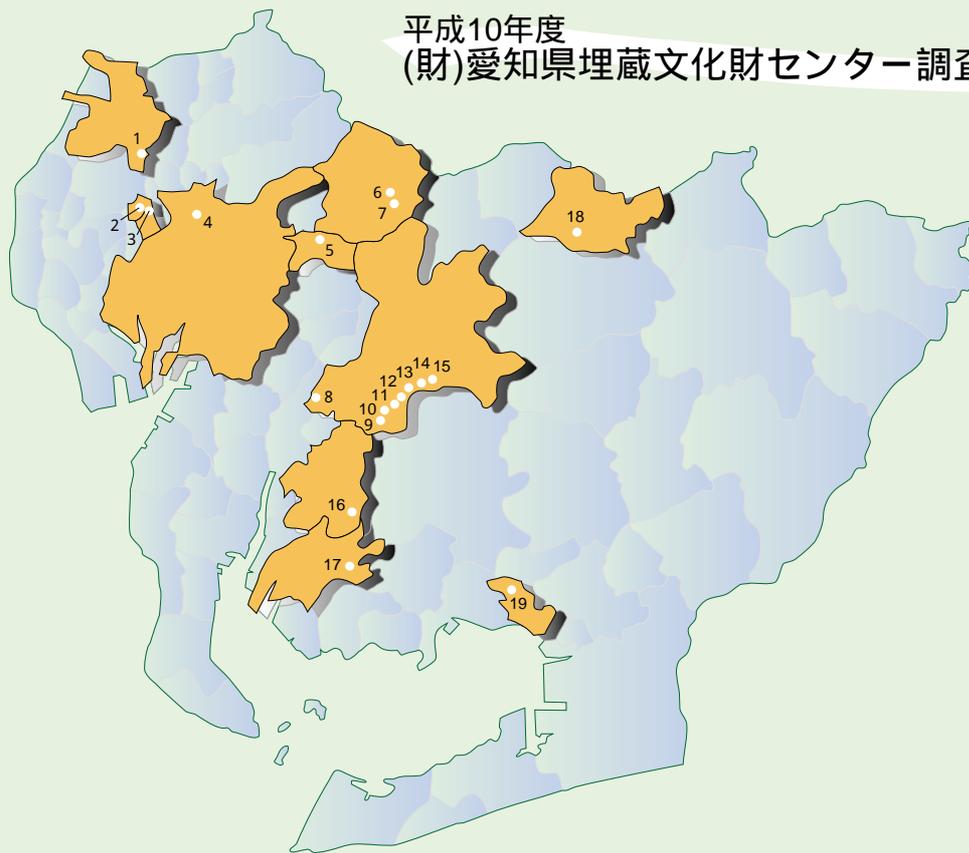
「川原遺跡の琴」と同様の形態の琴（琴状木製品）が、最近いくつか報告されている。これらが、果たして琴なのかあるいは別系統の弦楽器なのか、今後注目される遺物である。

謝辞：琴については、笠原潔氏よりご教示を頂いた。

#### 参考文献：

- 水野正好 1980 「琴の誕生とその展開」 『考古学雑誌』第66巻第1号  
 笠原 潔 1994 「出土琴の研究」  
 (1) 『放送大学研究年報』第12号

平成10年度  
(財)愛知県埋蔵文化財センター調査遺跡位置図



- 1 伝法寺野田遺跡
- 2 清洲城下町遺跡
- 3 朝日遺跡
- 4 志賀公園遺跡
- 5 岩作城跡
- 6 上品野遺跡
- 7 八王子遺跡
- 8 西山古窯
- 9 本川遺跡
- 10 川原遺跡
- 11 郷上遺跡
- 12 天神前遺跡
- 13 水入遺跡
- 14 今町遺跡
- 15 渡合遺跡
- 16 鹿乗川流域遺跡群
- 17 岡島遺跡
- 18 能見城跡
- 19 高坂遺跡



平成10年度 埋蔵文化財展 開催のお知らせ

新出土品速報展'98

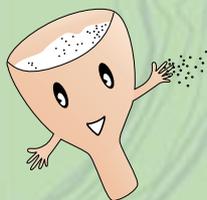
会場 東海市立文化センター  
2F展示室  
期間 平成10年8月1日(土)～16日(日)  
開館時間 午前9時～午後5時  
月曜日休館  
入場無料

埋蔵文化財講演会

会場 東海市立文化センターホール  
日時 8月8日(土) 13:00～16:00  
構成 第1部 基調講演  
「文献からみた尾張連のイメージ」  
福岡猛志氏(日本福祉大学特任教授)  
第2部 パネルディスカッション  
「あゆみの海と尾張連」  
福岡猛志氏他4名

埋蔵文化財講座

会場 東海市立文化センター  
第3講義室  
日時 8月1日(土)・15日(土)  
両日とも14:00～15:30  
発掘を担当した調査員が、展示の遺跡の主な遺構・建物の紹介を中心に解説します。



埋蔵文化財愛知 no.53

発行 平成10年7月22日

編集 財団法人 愛知県埋蔵文化財センター  
〒498-0017

愛知県海部郡弥富町前ヶ須新田野方802-24

TEL 0567-67-4161～4163 FAX 0567-67-3054

印刷 クイックス